

伝え続ける 平和

書くこと、届けること

作家×編集者

講演 森越 智子さん (児童文学作家)

橋口英二郎さん (童心社 取締役編集長)

戦後80年。

戦争の記憶を風化させることなく伝えていくのは、戦争を知らない私たちの手にすでに委ねられています。

戦禍の続く世界を前にして、私たちには何ができるのか、今を生きる子どもたちへ平和について考える本を届ける思いを、それぞれの立場からお聞きます。

2025/ 7 /26 (土)

開演 / 13時30分
会場 / 函館YWCA ホール
(函館市松陰町1-12)

参加費 / 大人500円

※ 駐車場には限りがあります。
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【講師プロフィール】

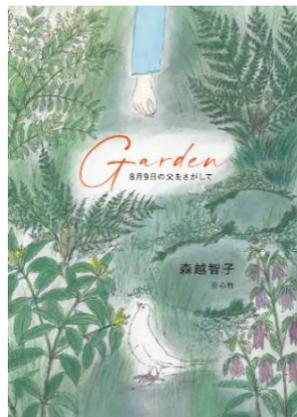
もりこし ともこ

児童文学作家。子どもの権利と平和に関する市民活動の傍ら作品を執筆。

著書に『いつかカッコウのように』(新風舎)『生きる 劉連仁の物語』(童心社/第62回青少年読書感想文全国コンクール課題図書) 最新刊『Garden 8月9日の父をさがして』(童心社)

はしぐち えいじろう

1965年長崎市生まれ。國學院大学文学部卒業。平和を考える本として『子どもも兵士になった 沖縄・三中学徒隊の戦世』(真鍋和子)『命のうた ぼくは路上で生きた十歳の戦争孤児』(竹内早希子)『報道カメラマンの課外授業(全4巻)』(石川文洋)などを担当した。



『Garden 8月9日の父をさがして』 『わたしたちのアジア・太平洋戦争(全3巻)』

☆ 当日、本の販売も致します。

◇ 主催 一般財団法人 函館YWCA
ピースプランニング委員会

◇ お問い合わせ TEL 0138-51-5262

✉ hakodate@ywca.or.jp